



兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

「ピースアクション2025 長崎訪問」
「平和について学び、自分たちができることを考える」ことを目的に
ピースアクション委員会、会員生協の役職員8人が2月24日～25日
に長崎を訪問しました。

2026 4



平和公園 平和祈念像と折り鶴の塔



高校生平和大使との交流



原子爆弾落下中心地碑

ピースアクション委員会では、「平和で安心してらせる社会の実現に向けた取り組み」を目的として活動しています。
2025年度は戦後80年として、広島、長崎の被爆地訪問の取り組みを企画・実施しました。





生活協同組合連合会コープ自然派・
オレンジコープ事業連合 理事長

辰巳 千嘉子
(たつみ・ちかこ)

みんなでケアのコミュニティを

中東で再燃し激化した戦争により、子どもや高齢者を含む多くの人々が避難生活を余儀なくされ、世界的なエネルギー危機は私たちの暮らしも直撃しています。戦争や紛争がもたらす資源の争奪と供給不安は、「限りある資源を奪い合う」社会の矛盾をあらためて浮き彫りにしました。こうしたなかで、改めて協同組合の役割の大切さを感じています。新自由主義的な経済成長一辺倒から立ち止まり、平和な暮らしと地域のニーズが満たされる「しあわせの経済」へ——その担い手として協同組合が注目されています。生協として推進してきた国産オーガニックも、微生物から始まるすべてのいのちを大切に、自然も人もケアする食・農・環境をめざすものです。

現在、コープ自然派・オレンジコープ事業連合では、新たな福祉事業の準備をすすめています。組合員が本来に望む終の住処と、障碍者や生きづらさを感じる人たちの仕事や居場所を同時につくる、組合員による地域コミュニティづくりへのチャレンジです。

いま日本の社会は、超高齢化に伴う医療・福祉分野の人口増や単身世帯の増加など社会構造が大きく変化し、地域のニーズも生協の課題も複雑化しています。分断と不安が広がり、物価高も重なるいま、どのように組合員の暮らしを支えるのか。また、多様なライフスタイルに応じた宅配システムも生協の課題です。そして、女性が働くのが当たり前になるなかで活動組織のあり方も変化し、意思決定を担う女性役員を育てることも未来のために必須です。

社会に不足する課題を協同の力で切り開くのが協同組合の役割。声を聴き合う場をつくり、一人ひとりの力をより活かせる組織づくりに取り組んで、誰もがケアし・ケアされ、人と人、人と自然がつながる地域社会をめざしていきたいと思っています。

CONTENTS

- | | |
|--|------------------------------------|
| 2. 想点 | 6. 協同組合のかけ橋 |
| 3. 兵庫 JCC 第10期虹の仲間づくりカレッジ 実践報告会 | 7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓 |
| 4. ピースアクション2025 長崎訪問 | 8. 2025年度 初級経理学校開催／
県連行事予定／編集後記 |
| 5. 第27回 近畿農政局と近畿地区生協府県連協議会との意見交換会／2025年度 第3回近畿地区生協府県連協議会 | |

兵庫 JCC 第10期虹の仲間づくりカレッジ 実践報告会

2月19日、兵庫 JCC 虹の仲間づくりカレッジの実践報告会を開催しました。

8月に4チームを結成し、協同組合が地域社会の中で果たすべき役割について考え実践した内容を発表しました。

各チームの発表内容

チーム名 「しっとお？協同組合」

テーマ

「次代を担う若者の、協同組合組織の『認知・理解』をあげる」



メンバー

生活協同組合コープこうべ	山本 章弘さん
生活協同組合コープこうべ	木村 翔平さん
生活協同組合コープ自然派兵庫	平田 千恵さん
兵庫県農業協同組合中央会	芝 玲奈さん
兵庫県漁業協同組合連合会	西上 剛生さん

実践内容

兵庫県立大学で11月11日に協同組合に興味を持ち、未来につながる小さな「行動変容」を起こすことを目的に「未来に向けたSDGsアクション」と題して学習会とワークショップを開催。各協同組合の取り組みについて説明後、グループごとに意見交換を行い発表しました。

チーム名 「Team HIGASHINADA ♡」

テーマ

「『環境問題』放置竹林問題の現状に対する認知不足」



メンバー

生活協同組合コープこうべ	福武 英明さん
生活協同組合コープこうべ	大西 涼介さん
甲南大学生活協同組合	新田亜梨香さん
兵庫県漁業協同組合連合会	六反田玲子さん

実践内容

1月31日に「甲南大学 Bamboo Thank you Project」と連携し、放置竹林問題への取り組みを広めていくため「ばんぶーでつくってあそぼ！」を開催しました。広い世代に放置竹林問題を含めた環境問題について知ってもらいさらに、竹を入口に協同組合の取り組みへの関心を持ってもらいました。

チーム名 「もぐもぐ」

テーマ

「つながる、ひろがる、元気になる」(地域との繋がりが、協同の輪を広げ、心身ともに豊かに)



メンバー

生活協同組合コープこうべ	大西 亮輔さん
ろっこう医療生活協同組合	柏原 来香さん
兵庫六甲農業協同組合	杉山 亮太さん
兵庫県漁業協同組合連合会	生田 千恵さん

実践内容

11月15日に各協同組合が地域の若年層と繋がりを協同組合間連携を通して参加者の健康意識を高めることを目的に「もぐもぐカレッジ」を開催しました。イベントでは自分がどのくらい野菜を食べているか数値で測るベジチェックや骨チェック、食育ワークショップ、親子クッキングなどを行い、参加者の健康意識を高めるきっかけを作りました。

チーム名 「チャレンジ 防災 アクション」

テーマ

「各協同組合の防災の取り組みを知ってもらい、『防災アクション』の実行」



メンバー

生活協同組合コープこうべ	前 寛彰さん
生活協同組合コープこうべ	坂口 裕太さん
尼崎医療生活協同組合	太田 絵梨さん
ひょうご森林業協同組合連合会	妹尾 惟吹さん

実践内容

2025年は阪神・淡路大震災から30年、戦後80年そして国際協同組合年であることから、職員一人ひとりが一歩進んだ防災対策を実行するきっかけをつくることを目的に、12月1日から1月17日まで「チャレンジ防災アクション」と題して、カレッジ生やチームメンバーの組合で個人個人で防災の取り組みを実践しました。「知る」、「見る」、「やる」の3つに分けて防災に取り組み、取り組み内容についてとりまとめました。

参加者の意見

- ・協同組合の組織は違っても想い、目指すことが同じであることを感じました。「つながり、健康、環境、安心、共助」はどの協同組合にも当てはまることだと思いました。
- ・虹の仲間づくりカレッジでは組織の壁を越えて仲間となり、様々な視点からの提案ができ、大きな強みだと思いました。

各チームの報告内容について、兵庫 JCC の幹事である生活協同組合コープこうべ 瀬戸口 幹事、兵庫県農業協同組合中央会 森垣 幹事、兵庫県漁業協同組合連合会 田中 幹事、ひょうご森林業協同組合連合 塩谷 幹事からは「虹の仲間づくりカレッジで得た知識や課題解決のすすめ方、そして何よりも築かれた人脈は大きな財産です。今後もここで築いた仲間を大切につながりを持ちながらまたそれぞれの組織や地域の課題を解決していくことにつなげてほしい」などの感想が述べられました。



瀬戸口 幹事
生活協同組合コープこうべ



森垣 幹事
兵庫県農業協同組合中央会



田中 幹事
兵庫県漁業協同組合連合会



塩谷 幹事
ひょうご森林業協同組合連合

ピースアクション2025

長崎訪問

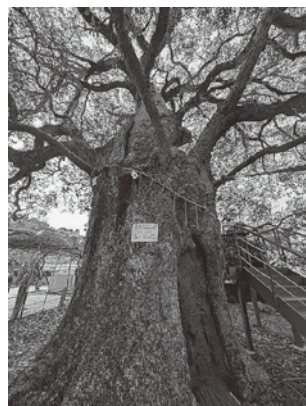


「平和について学び、自分たちができることを考える」ことを目的にピースアクション委員会、会員生協の役職員 8 人が 2 月 24 日～25 日に長崎を訪問しました。

1 日目は長崎生協連の案内で山王神社（一本柱鳥居、被爆クスノキ）、浦上天主堂、山里小学校を見学、また平和案内人の案内による平和公園、長崎原爆資料館、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の見学。2 日目は高校生平和大使 4 人による「高校生平和大使の活動について」「高校生 1 万人署名の活動内容について」の報告後、「全国各地での活動への期待」「これからの課題」などについて参加者と意見交流をしました。

参加者の意見・感想

- ・平和案内人にご案内いただいた。これまで何度も平和公園を訪れているが、これほど多くの国々から平和への願いを込めた像が送られていることを知らなかった。多くの国が平和を願い、長崎に期待を寄せていることが伝わってきた。
- ・世界各地で戦争や紛争が起きている中であっても、原爆や戦争、そして平和活動をどこか「じぶんごと」として捉えきれていなかった自分に気づき、深く考えさせられた。
- ・私たちは、この惨状を忘れず、核兵器のない平和を築いていかなければならない。
- ・高校生平和大使の皆さんの、意識や行動、発信に驚いた。
- ・高校生平和大使の、「ビリョクだけどもリョクじゃない！」のスローガンにこれまでの活動の苦労と大変さが詰まっていると感じた。
- ・現在、世界各地で戦争や紛争が起きている中で、声を上げ続ける若い世代の存在を頼もしく思う。
- ・私たちはこの惨状を忘れず、核兵器のない平和を築いていかなければならないと思った。
- ・平和について考え、行動することは決して特別なことではなく、日常の延長線上にあるものだと感じている。今後は、平和をより身近なものとして捉え、活動を続けていきたい。今後もこのような機会を設けてほしい。



山王神社 被爆クスノキ



浦上天主堂



平和案内人によるガイド



平和公園 平和祈念像前



山里小学校 防空壕跡

第27回 近畿農政局と 近畿地区生協府県連協議会との意見交換会

2月25日 滋賀県で「第27回近畿農政局と近畿地区生協府県連協議会との意見交換会」が開催されました。

近畿農政局と近畿地区の生協府県連が、食料・農業・農村を取り巻く状況について情報共有や意見交換を行う場として毎年開催されています。当日は、近畿農政局から、食料・農業・農村の現状と課題、また農家の減少に対応するためのスマート農業の推進状況などについて説明がありました。

各府県の生協からは「食と農に関する」取り組み事例の紹介があり、その後活発な意見交換がなされました。



2025年度 第3回近畿地区生協府県連協議会

3月13日 第3回近畿地区生協府県連協議会が福井県民生活協同組合 ハーツ恐竜店で開催されました。

近畿労働金庫、消費者支援機構関西、日本生協連関西地連、府県の生協連計19名が参加しました。近畿地区の各生協連、団体から今年度の活動報告がありました。各生協連や団体の報告内容や取り組みなどについて活発に意見交換がなされました。



協同組合のかけ橋

UF ひょうご豊かな海づくり県民会議

新アプリ「うみまっぷひょうご」 運用開始しました!

ひょうご豊かな海づくり県民会議が2026年1月7日に運用を開始した掲示板アプリ「うみまっぷひょうご」を紹介します。本アプリは「豊かな海づくり」や「環境」に関するイベント等を簡単に探せる情報掲示板アプリで、閲覧・投稿ともに無料です。「豊かな海づくり」では朝市や試食会・お魚料理教室、「環境」ではセミナーやバードウォッチングなどなど様々なイベント情報が掲載されています。イベントの探索は、地図上に表示された開催場所や、カレンダーに表示された開催日から簡単にすることができ、非常に使いやすいです。ぜひご利用ください。



ためまっぷ初!
「環境」×「豊かな海づくり」がテーマ
(品・川・海・地産地消推進 管理機構等)

うみまっぷひょうご投稿イベント例

<p>木の实拾い 虫取り大会 海岸清掃 エコファッション ショー など</p>	<p>海の 生き物観察会 お魚料理教室 アマモの種まき 浜のイベント など</p>
---	---

「うみまっぷひょうご」をこんな時に使ってみよう! /

- 子どもが遊ぶ自然体験会に行きたい!
- 私がやりたい活動をしている団体はどこ?
- 旬の魚の料理方法が知りたい!
- 環境セミナーで学びたい!

スマホやタブレットでは、ホーム画面に「うみまっぷひょうご」アイコンを追加できます。

JA あわじ島 GAP 部会

GAP 認証を取得・継続し、南あわじ市でのたまねぎ栽培の再興を図る

本企画は、兵庫県を拠点に活動する生産組織にスポットを当て、設立に至った経緯や注力している取り組み、メンバーの意気込み等を紹介いたします!

Q1. 部会の成り立ちについて教えてください

南あわじ市では、年々タマネギの生産量が減少しており、今後もタマネギの一大産地であるためには他の産地との差別化を図る必要があると考えました。そこで、タマネギの安全性や信頼性を高めるため、食品安全や環境保全等を重視した認証制度である GAP 認証に着目し、令和元年に GAP 認証の取得を目指す JA あわじ島 GAP 部会を設立しました。

Q2. GAP 認証の取得、継続に向けた取り組み教えてください

本部会では海外への出荷も見据え、世界130か国以上で普及している GLOBALG.A.P. 認証を令和2年に取得しました。GLOBALG.A.P. 認証は、国際的な基準に基づいた生産管理や作業工程の記録、減農薬・減化学肥料での栽培等、従来の農作業に比べて幅広い知識が必要です。

そこで本部会では、労働安全、衛生管理、農薬の適正な使用方法等、様々な内容の講習会を定期的の実施しています。

Q3. 部会の特徴について教えてください

安定した収益を確保するためには気象について詳しくなる必要があると考え、部会のほ場に気象の観測が可能な機器であるウェザーステーションを設置しました。

高精度のデータをもとに異常気象や病害虫の発生リスクを予測し、薬剤の散布量や栽培計画を決定することで、ウェザーステーション導入前と比べて収穫量の増加に繋がっています。

Q4. 現在、力を入れている取り組みについて教えてください

本部会では近畿圏だけでなく関東圏の市場や仲卸業者出向く等、販売先を積極的に訪問し、農作物の梱包方法など出荷に関する要望を直接聞いています。

ニーズを把握し、柔軟に出荷方法を調整することで、多くの販売先からの依頼に対応することが可能となり、販路の拡大に繋がっています。

Q5. 今後の目標について教えてください

本部会が掲げている「南あわじ市のたまねぎ栽培の再興」という目標を達成するため、イベントの出展を通して部会の活動を積極的に PR する等、部会員の増加や新規就農者の確保に向けて新たな取り組みを進めたいと考えています。





不用品回収で高額な請求



Q

「不用品の回収、2トントラックに積み放題で3万円～」というネット広告を見て連絡。訪ねてきた担当者は見積額を「33万円」と提示したので、広告の価格と大きく違うと指摘したところ、広告は買取りできる不用品がある時の価格と言う。結局全額を支払ったが、納得できないのでクーリング・オフしたい。(40代、男性)

A

ネット検索で格安での不用品回収・処分をうたう業者に依頼したところ、ネットでの表示金額を大きく超える高額な請求をされたという相談が増えています。

クーリング・オフは、一定期間内であれば無条件で契約の解除ができる制度のようですが、特定商取引法に規定された訪問販売など特定のものが対象です。

事例のように、業者を自宅に呼んで契約した場合、基本的にはクーリング・オフはできません。しかし、見積もりで呼んだ業者とその場で契約したり、ネット広告などに表示された金額と実際に請求された金額に相当の開きがある場合は、クーリング・オフができる可能性があります。

今回、クーリング・オフ通知を出し交渉した結果、不用品は既に処分されていることや相談者も一部返金を希望したため、半額が返金されました。

不用品回収のトラブルに遭わないためには以下の点に注意が必要です。

- ①家庭のゴミ(一般廃棄物)の収集運搬・処分は、市町の許可等を受けた業者しか行えません。無許可の業者に依頼するとトラブルとなる場合がありますので避けましょう。許可の業者かどうかはお住まいの市町にお問い合わせ下さい。
- ②不用品の片付け等は事前に複数の業者から見積りをとるなど、業者の選定は慎重に行いましょう。また、契約時や作業開始前に追加料金がないか、具体的な作業内容を確認しましょう。なお、片付けをしてもらった後、不用品の「収集運搬・処分」をすることは市町の許可を受けた事業者しかできません。
- ③粗大ゴミや不用品の処分はお住まいの市町のルールに従って行いましょう。

ネット広告やチラシに書かれた料金以外に高額な費用を請求されるなど、少しでもおかしいと思ったときは、最寄りの消費生活センターにすぐ相談しましょう。

兵庫県立消費生活総合センター ☎ 078-303-0999

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓



みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

4月になると新入生や新社会人で通勤電車が混みあいます。真新しいスーツ、少し不安そうな表情、混みあう電車での位置取りの不慣れさで「新」を感じたりします。

さて、話は全く変わりますが、今回は未成年者のオンラインゲームトラブルについて考えてみたいと思います。子が親の許可なく、生年月日を偽ってオンラインゲームに高額課金してしまった際、契約を取り消すことはできるのでしょうか。民法では親権者の同意ない未成年者の契約は取り消すことができるとされています。ただ、未成年者による詐術といって、未成年者が詐術を用いたことによって、事業者が成年と誤信した場合は取消権を行使できない可能性があります。この点については、経済産業省が「電子商取引及び情報財取引等に関する準則」というのを公開していて、そこで「未成年者が取引に入ることを想定されるような性質か」「未成年者か否かの確認のための画面が警告の意味を認識されるに足る内容か」「未成年者が不実の入力を困難にする仕組みか」などを総合的に考慮して実質的な観点から判断されるものと指針を示しています。このような経済産業省の指針があることをまず知っておいてもらえたらと思います。



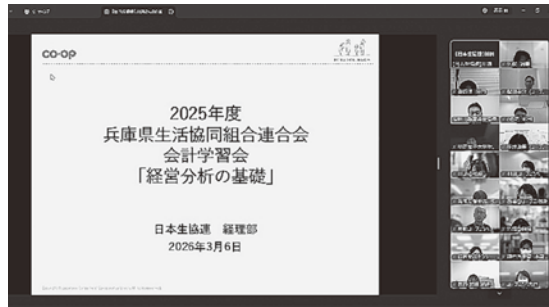
ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

2025年度 初級経理学校開催

3月6日にオンラインで「2025年度初級経理学校」を開催し、6会員生協5子会社から計21名の参加がありました。

講師に日本生活協同組合連合会 管理本部 経理部 川渕 笑子氏を迎え、「経営分析の基礎」について講義いただきました。決算関係書類や経営分析、また、収益力、安全性、生産性の分析について丁寧にわかりやすく教えていただきました。



●参加者の感想

- 基本的な内容がわかりやすく理解できて良かった。
- 経営分析について、どのような指標があり、どのように活用するのかを体系的に学ぶことができ、大変勉強になった。
- 事前に資料が配布されており予習してから参加することができたので理解度が高まった。非常にわかりやすい資料と講義でしたので初心者の私には大変有難かった。
- 経営分析に関する各指標がそれぞれどのような観点で見るとののかを整理することができた。各指標に実際の数値も当てはめて説明いただいたので、たいへんわかりやすく、理解が進んだ。
- 普段の業務ではあまり意識しない部分の研修でしたので、とても勉強になった。今後業務に深く携わっていくにつれて必要になってくる知識だと思うので、今回のセミナーで学んだことを活かして業務に取り組んでいきたいと思う。

県連行事予定

- 4月6日 第6回理事会
- 4月8日 ひょうごまるごと健康チャレンジ 実行委員会
- 4月24日 兵庫JCC第1回事務局会議

編集後記

先日、滋賀県で開催された「第27回近畿農政局と近畿府県協議会との意見交換会」に参加しました。

近畿農政局の方からは、ドローンを活用し、農薬や肥料を散布して労力を軽減させるスマート農業について説明がありました。

私はこれまで店舗で勤務していましたが、生鮮部門については未経験のため、今回のお話の中には初めて知る内容も多くありました。農家の現状や課題について直接お話を伺うことができ、大変貴重な機会となりました。

意見交換会の後には懇親会も開かれ、和やかな雰囲気の中で交流を深めることができました。多くの学びがあり、充実した一日となりました。

(後内)

